

製品名: MKP-7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13937**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	DUSP16
別名	DUSP16; KIAA1700; MKP7; Dual specificity protein phosphatase 16; Mitogen-activated protein kinase phosphatase 7; MAP kinase phosphatase 7; MKP-7
遺伝子 ID	80824.0
SwissProt ID	Q9BY84
免疫原	抗血清はヒト DUSP16 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 571-620

背景

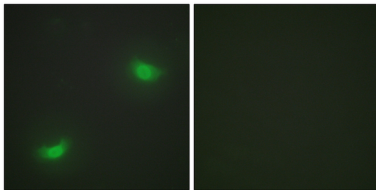
二重特異性ホスファターゼ 16 (DUSP16) ホモサピエンス この遺伝子は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーに属

するミトゲン活性化タンパク質キナーゼホスファターゼをコードしています。これらのホスファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することにより、標的キナーゼを不活性化します。コードされたタンパク質は、c-Jun アミノ末端キナーゼ (JNK) および細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) 経路を特異的に制御します。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。機能: MAP キナーゼの不活性化に関与。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属します。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。類似性: 1つのロダネーゼドメインを含みます。類似性: 1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含みます。、

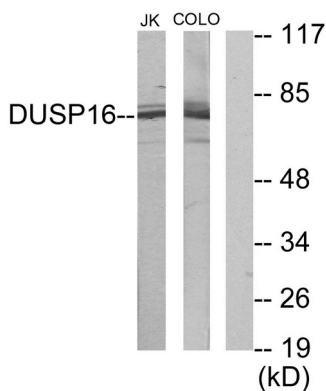
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

画像データ



DUSP16 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DUSP16 抗体を用いた Jurkat 細胞および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。